

- 第22回ヨーロッパ・キリスト者の集い：8月4日～7日、ドイツ、ゲーゼケ
- 洗礼式：8月21日（日）

暖房を入れるほどの寒いドイツの夏でしたが、先週から夏らしい気候が続いています。お元気でいらっしゃいますか？

今月は、8月4日～7日、ドイツのゲーゼケという町で開催された、日本人クリスチャンの集まりである「ヨーロッパ・キリスト者の集い」に行ってみりました。また、21日、ドイツの母教会では、洗礼式が行われました。今日は、その二つの様子を皆様にお知らせいたします。

- 第22回ヨーロッパ・キリスト者の集い：8月4日～7日、ドイツ、ゲーゼケ



グループ会



賛美と祈りの夕べ



集合写真

ドイツのゲーゼケという郊外の修養施設で開催された今年のヨーロッパ、キリスト者の修養会は、各国から総勢約300人が集まりました。今回は、終戦60年ということもあって、「平和を生きる」というテーマのもとに、それぞれの講師の先生方が、実に深いメッセージを語ってくださいました。

グループ会では、私たち12人のグループは、最後の分かち合いの日、司会者の提案で、ACTS（アドレーション、コンフェッション、サンクスギビング、サブリケーション）の祈りのひとときを持つ、ということになりました。そして私たちは、特に深い悔い改めの祈りへと導かれたのです。私はこの日、悔い改めこそ、日々の神との和解であることを理解しました。そして、悔い改めて砕かれた心にこそ、主は深い愛と慰めと、ご自身の栄光を現してくださることを悟りました。心に残る、素晴らしい祈りのひと時となりました。

私は、3日目の「賛美と祈りの夕べ」で賛美をリードさせていただきました。修養会初日から体調を崩して発熱してしまった私は、一時はどうなることかと思いましたが、私が弱くなった分、主が力強く働いてくださいました。この日、私は、いつになく大きな主の導きを感じながら、賛美をリードさせていただくことができました。感謝！

分科会では、沖縄からいらしてくださった、沖縄戦体験者の外間 豊（ほかま とよ）さんのお話を聞かせていただきました。このことは、是非、次号のメルマガで、皆さんにお分かちさせていただきたいと思っています。

そして、修養会のしおりの裏には、以下のことばが記されていました。

「よき主よ、わたしたちに示してください、  
わたしたちの求めなければならない平和を、  
わたしたちが与えなければならない平和を、  
わたしたちが捨てなければならない平和を、  
そしてあなたがたが主イエスのうちに与えてくださったあの平和を」  
(『祈りのポッシュェット』 ジョージ・アプルトン編：小塩トシ子訳より)

今回、平和の意味を深く考えさせられた、素晴らしい時となりました。  
十字架の贖いによって、私たちに平和を与えてくださった主、イエス・キリストに、心からの感謝  
を捧げます！

## ●洗礼式：8月21日（日）



証しをする  
73歳のエリカ



ファイコー牧師と  
アンドレアス  
ラース牧師のメッセージ



ウーテ



ウーテとご両親

洗礼式の日、神様は素晴らしいお天気をプレゼントしてくださいました。  
私たちのハンブルクの FGEC 教会（Freie Gemeinde Evangelischer Christen＝自由福音クリ  
スチャン・チャーチ）では、この日、73歳のエリカ姉妹、35歳のウーテ姉妹、36歳のアンド  
レアス兄弟の3人が、ハンブルク郊外の美しい湖で洗礼を受けました。

教会員のミヒャエル兄弟のお母様のエリカ姉妹が、73歳で主を受け入れ、洗礼を受けたことは、  
私たちにとって本当に大きな喜びでした。

アンドレアス兄弟とウーテ姉妹は、それぞれ国教会で幼児洗礼を受けたのですが、自由主義神学  
のために霊性が弱くなった国教会（注：全ての国教会がそうなのではありません）を出、数年前から

私たちの教会に集うようになりました。そして、キリストと共に十字架につけられ、キリストと共に復活したことを人々の前で証しするために、今回、エリカ姉妹と一緒に洗礼を受けることになりました。

ウーテ姉妹にとって、洗礼式を待つ間、ご両親のことが大きなテーマでした。彼女は、ご両親に、洗礼を受けることを話そうかどうしようかと非常に悩んでいました。というのは、国教会の会員である彼女のご両親に生きた信仰の意味を説明しようとしたとき、大喧嘩になってしまったからです。けれども、先週の木曜日、彼女は思い切って話す決心をしました。私たち教会員は、彼女のご両親がウーテ姉妹の洗礼を理解してくれるよう切に祈りました。そうしたら、何と、ご両親が洗礼式に喜んで来てくださったではありませんか！そして、この日の洗礼式は、ウーテ姉妹とご両親の和解の日となったのでした。ハレルヤ！

---

### ●お祈りください

1. ドイツ滞在中、主との深い交わりの時を持つことができますように
2. 秋からの日本でのコンサートの準備のために
3. 2004年の税金申告を速やかに終えることができますように

---

それでは、また2週間後にメルマガをお送りさせていただきますね。

どうぞ、健やかな日々を過ごされますように、  
そして、主のご愛と平安が、皆様とともにありますように！

工藤篤子